

事務代行で企業を支える！ 令和時代の新たな戦略提案



株式会社 STELLA



千曲市

本日のGOAL！

GOAL1



社員の不満が
生まれない仕組みを知る

GOAL2



良い人材を
確保する方法を知る

不満ランキングTOP5 と 不満が生まれる原因TOP3

2種類のペルソナ ～製造系企業の場合～

不満ランキングTOP5

- 1 人間関係が悪い
- 2 給与が低い
- 3 正当な評価が得られない
- 4 上司が頼りにならない
- 5 仕事内容が合わない

不満が生まれる原因TOP3

- 1 業務負荷が高い
- 2 評価制度が整っていない
- 3 コミュニケーションが上手くいかない

参照：会社への不満ランキングベスト5 | アンケート結果から見る社員の不満を解消する方法

解決策とは？

自分の不足点がわかっている状態 = 不満は生まれない

不足点がわからないと“ストレス”に感じる

例)

営業職として、営業成績が悪く売れてない状況なのに、上司からは「お前の営業は良いと思うんだけどな」と言われる



現状を変える解決策を伝えられることや、社員のモチベーションを高めるコミュニケーションと再現性を高めた仕組みづくりが組織として求められる

組織を分けて評価できる企業体制を整える

組織として正当な評価を行うことが求められる

例)

営業職なのに事務職を兼務しており、本業の数字を上げなくてはいけないのに、時間を捻出することが出来ていない



兼務している組織を分けることや、社長直下の部署にすることが求められる！
近年、首都圏を中心に一部の業務を外注をする企業が増加している

**マネジメントと成長曲線と環境?!
これらを用意しないと良い人材は...
辞めます**

人材の型について

I型人才

特定の分野に詳しい専門家や
スペシャリストを指す！

旧来のビジネスシーンにて、
1つの分野に特化した人材を
育成する人材の型

T型人才

1つの強力な分野を持ちつつ、
周辺の知識や経験を持つ

縦軸(専門的な深い知識)と
横軸(幅広い知識)が
組み合わさる人材の型

人材の型について

π型人才

T型人才に
もう1本深い知識を持つ人材

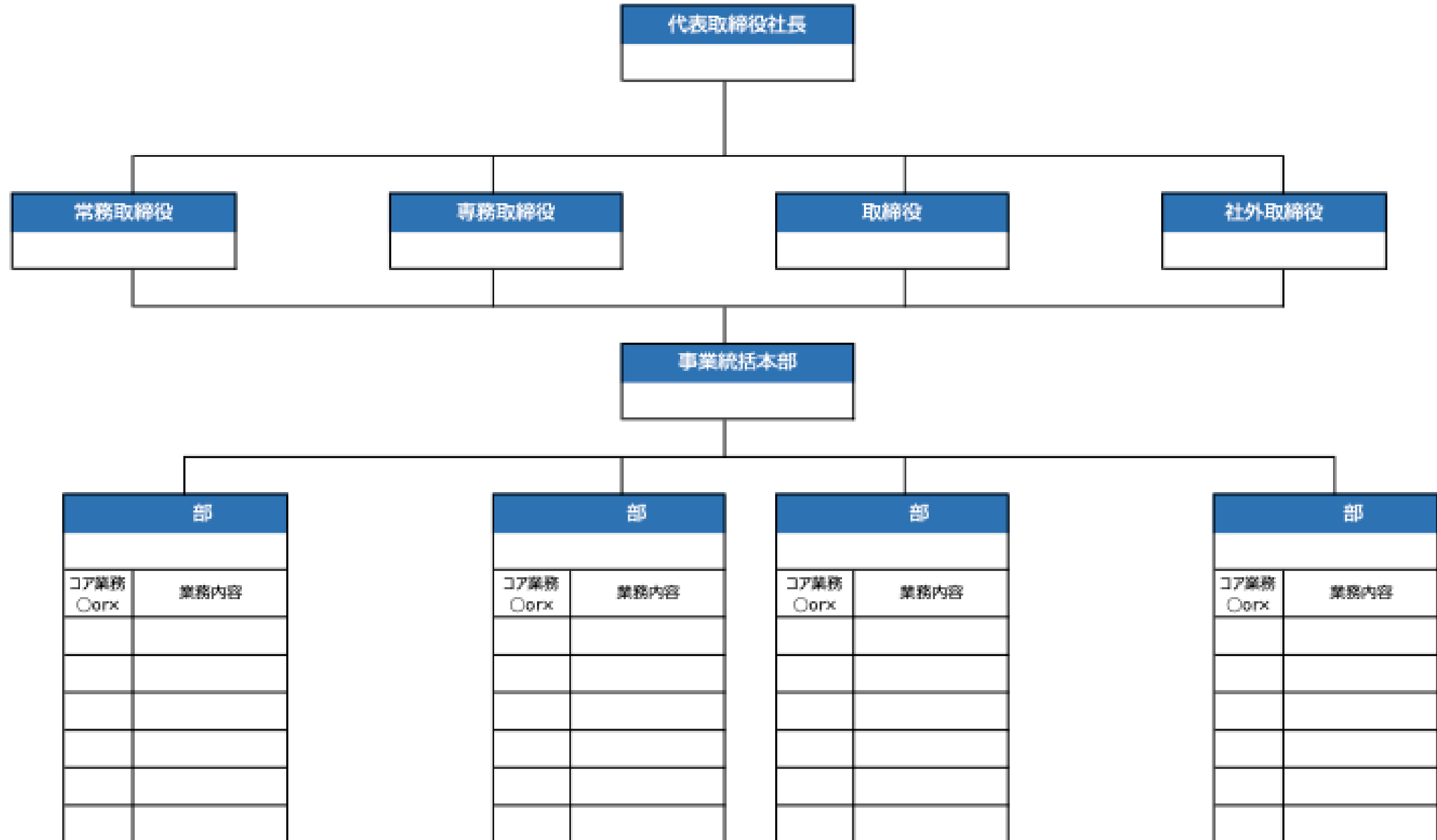
20年前は英語力があれば
重宝されていたが、現在では
IT知識や金融工学知識が
求められる

H型人才

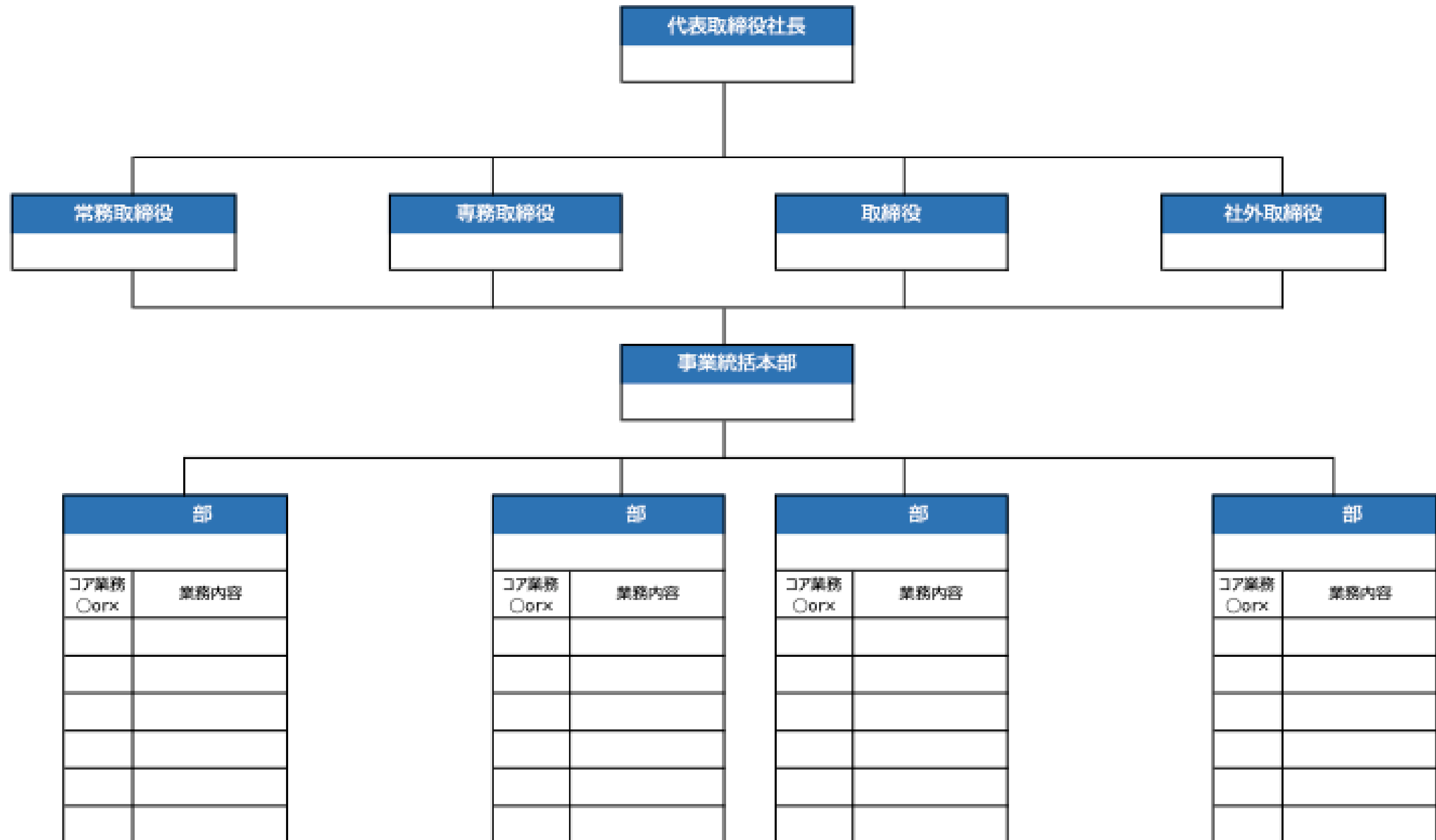
1つの強力な分野を持ちつつ、
他の人材との橋渡しを行える人材

異なる専門領域の人材との
コラボレーションが得意
イノベーション人材
とも言われる

【ワーク】現在の組織図



【ワーク】準備中組織図



【ワーク】理想の組織図

